

令和3年度自転車関連実施事業

資料1

通学

- 実現したい将来の姿
- 子どもの時から発達段階に応じ、定期的に安全教育を受けることで、安全利用の意識が根付きます。
 - ルールをしっかり理解し、安全な通学路を安心して通学できます。
 - ルールを守り安全に利用することで、周りの歩行者なども安心して暮らせます。
 - 子どもの時から、自転車のことをしっかり理解しているため、大人になっても正しい自転車利用を続けていくことができます。
 - 自転車が利用できる時には、優先して自転車を利用する習慣を定着させることで、市民にとってもまちにとってもメリットのある暮らし方を実現します。

※表中の●は新規事業内容を対象

令和3年度に実施した事業								事業実施関係団体
活用場面	事業の区分	施 策	関係団体	事 業 名 称	事 業 内 容	実施の有無	効果	
通学	安全教育	交通安全教育の継続・充実	行政 学校 警察	交通安全教室の実施	交通安全教室で自転車に関する内容を取り扱った。 回数：107回(内訳は以下のとおり) 小学3年生：52回 小学5、6年生：34回 中学生：9回 高校生：12回	○	受講者は交通ルールを学ぶとともに交通安全意識の高揚が図られ、結果として自転車利用者の死傷者数が減少した。 (R2：360人 R3：325人)	豊橋市(安全生活課)
				200日間自転車無事故無違反ラリー	自転車の交通安全意識の高揚と交通事故防止を目的とし、豊橋市内の中学校・高校で200日間自転車無事故・無違反ラリーを実施し、達成した学校は表彰した。	○	達成校 中学の部：18校(参加校23校) 高校の部：7校(参加校11校) 自転車利用時における法令遵守と交通安全意識が高揚した。	豊橋警察署
				豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の推進	平成31年4月1日に施行した豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の更なる周知を図る。特に、自転車損害賠償保険等への加入(令和元年10月1日より義務化)及びヘルメット着用の促進を図る。 ●令和3年度は、愛知県職員、中核市職員(豊田市、岡崎市)、市内私立高等学校教諭、警察官等が参加する自転車有識者会議を開催し、高校生の自転車交通安全対策やヘルメット着用率向上を目指し、対策について検討を行った。	○	各種取組により、条例の周知が図られた。 ヘルメット着用の必要性について、購入補助金と併せて市ホームページや広報とよはし等を活用して広く周知することにより、前年以上のヘルメット購入実績となり、ヘルメット着用の促進にもつながった。 令和2年度ヘルメット補助金利用件数 1557件 令和3年度ヘルメット補助金利用件数 2866件	豊橋市(安全生活課) 愛知県、市内高等学校、豊橋警察署、損害保険会社、保険代理店
		指定通学路一斉点検の実施と対策の展開	行政 学校 警察	通学路一斉点検	指定通学路一斉点検(小中学校)が行われた。 指定通学路一斉点検の要望事項に対し関係各課で対策した。	○	通学路点検により、登下校中の危険箇所を明確に把握することができた。 警察、東三河建設事務所(維持管理課・道路整備課)、市建設部(道路維持課・道路建設課)、市安全生活課、学校教育課などの関係各課が対応にあたり、危険箇所が減ったため、自転車通学の安全性につながった。	豊橋市(学校教育課、安全生活課、道路維持課)
	意識啓発	自転車に乗り続けることのメリットの周知・啓発	行政	-	-	-	-	-
		自転車を放置させないための指導・啓発	行政 学校 警察	自転車放置対策推進事業	駅周辺の自転車放置規制区域を中心に放置自転車を防止するための指導・啓発活動を行った。 豊橋市内5ヶ所の無料駐輪場を整理した。 ●豊橋わかば議会提案事業のGo To チカチュウ(地下駐輪場利用促進事業)により豊橋駅東口・西口自転車等駐車場の愛称が「とめちゃりん東、とめちゃりん西」にそれぞれ決定した。とめちゃりん東の自転車の一時利用者に抽選で景品をプレゼントした。場内に自分で自転車の整備を行えるセルフメンテナンスエリアを設置した。	○	放置自転車防止意識が向上した。 乱雑に駐輪された自転車を整理したことで、駐輪スペースを確保できた。 地下駐輪場の利用促進につながった。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(鳶井株式会社) 委託業者(公益社団法人豊橋市シルバー人材センター)、委託業者(鳶井株式会社)
	支援・補助	自転車通学者のヘルメット着用に関する支援	行政 学校	豊橋市ヘルメット購入補助金	市内在住者に対し、ヘルメット購入費の一部を補助することで自転車ヘルメット着用を促した。 令和3年度より申込のある制服取扱店も事業協力店として加えた。	○	前年度以上の購入実績があり、ヘルメットの着用を促進した。 令和2年度補助金利用件数 1557件 令和3年度補助金利用件数 2866件(内訳は以下のとおり) 未就学児 478件 小学生 1028件 中学生 385件 高校生 50件 その他 925件	豊橋市(安全生活課) 市内の自転車販売店 市内の制服取扱店
	情報提供	安全・快適な移動経路などの情報収集・提供	行政 警察 企業 学校	自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」ステッカーを貼ることで、自転車利用者に交通ルールとマナーを周知した。	○	視覚的に訴えることにより、事故のリスクを低減させる効果がある。	豊鉄バス
				自転車通行空間利用案内【資料1-1】	●自転車通行空間の整備箇所と自転車通行の原則や注意事項に関するチラシを市内の高校1年生へ配布した。	○	市内の高校1年生へチラシを配布したことで、自転車通行の原則や注意事項について周知できた。	豊橋市(都市交通課)
				サイクルトレインPR【資料1-2】	ホーム床面に案内表示を設置した。(10駅) 車両の窓にサイクルトレインステッカーを貼り付けた。(10車両)	○	渥美線サイクルトレインの更なる周知ができた。	豊橋市(都市交通課) 田原市 豊橋鉄道
		新しい生活様式での自転車の活用情報の提供	行政	-	-	-	-	-

通勤

- 実現したい将来の姿
- ・ 企業自身が自転車通勤のメリットを理解し、積極的に従業員に対する利用啓発を展開します。
 - ・ 毎日の通勤がリフレッシュや運動の時間になり、心も体も健康で明るく通勤しています。
 - ・ 朝夕通勤時間帯の道路混雑が改善し、さらに自転車も車道を走りやすくなります。
 - ・ 多くの企業が「健康経営」を実現し、働く場としての“とよはし”の魅力が高まります。
 - ・ 働く世代の生活習慣病などの有病率が低下し、市の医療費負担も軽減されます。

※表中の●は新規事業内容を対象

令和3年度に実施した事業								事業実施関係団体
活用場面	事業の区分	施 策	関係団体	事 業 名 称	事 業 内 容	実施の有無	効果	
通勤	安全教育	企業を通じた交通安全教室の実施・充実	行政 企業	県境の事業者に対して、交通安全教室の実施	県境地域通勤環境推進協議会の参画事業所を対象に自転車利用のルール・マナーの周知や快適な走り方などを伝える講習会を実施する。	×	コロナ禍にあり講習会は中止となった。	豊橋市（都市交通課） 県境地域の事業所
	意識啓発	企業での自転車活用促進に関する啓発	行政 企業	地域・職域連携推進事業（とよはし健康マガジンの発行）	健康経営を実践する市内事業所「とよはし健康宣言事業所」に対し、市の施策や事業等に関する情報提供を行う電子マガジン「とよはし健康マガジン」にて、自転車利用促進に関する記事を掲載した。	○	マガジンは、3か月に1度、その時期にあった旬な情報を定期的に配信しており、市内企業（事業所）における自転車利用促進及びエコ通勤の普及啓発につながる事が期待できる。	豊橋市（健康政策課） 豊橋商工会議所 全国健康保険協会愛知支部
				健康経営推進事業（とよはし健康宣言事業所認定制度）	健康経営を実践する市内事業所「とよはし健康宣言事業所」及び健康経営の取組を検討している企業に対し、とよはし健康宣言事業所に係る印刷物やホームページ等を用いて、健康経営の取組内容としてエコ通勤（徒歩、自転車や公共交通機関を利用した通勤）を推奨した。	○	健康経営（従業員の健康）という新しい観点から、自転車利用の啓発を実施することができる。また、職場からの自転車利用を促すことで、これまで自転車利用をしてこなかった個人（従業員）に対し、きっかけの提供や動機付けを行うことができる。	豊橋市（健康政策課） 豊橋商工会議所 全国健康保険協会愛知支部
				環境マネジメントシステム推進事業	豊橋市エコアクションプラン（第6次）の推進にあたり、とよはしエコマネジメントシステム（T-EMS）を活用しており、エコ通勤の実施日数を令和元年度比で2％増加するという目標を掲げている。豊橋市役所職員の研修等を通して、エコ通勤（自転車や公共交通機関などによる通勤）を推進した。	○	T-EMSを通じて、エコ通勤の普及啓発に努めた。具体的には、月毎の実績を把握、掲示板などを活用したエコ通勤の啓発を行った。	豊橋市（ゼロカーボンシティ推進課） 豊橋市役所の職員、会計年度任用職員、再任用職員
	支援・補助	貸付・補助による自転車活用の推進	行政 企業	自転車損害賠償保険を包括する保険の団体扱いの開始	令和元年10月1日から加入が義務となっている自転車利用者の自転車損害賠償保険等について、それを包括している保険の新規加入・内容変更の募集案内を職員へ行い、保険料については給与から控除する団体扱いを行った。	○	職員に自転車損害賠償保険の加入を促進できた。	豊橋市（人事課）
				通勤手当の加算	通勤距離区分が2km以上15km未満で自転車通勤の場合に、通勤手当の加算を行った。平成27年度から、通勤距離区分の拡大及び手当額の引き上げを実施した。	○	自転車通勤者の人数は、本事業により800人以上の自転車通勤者を維持できている。令和3年度 842人で全職員数の約22％程が自転車通勤である。	豊橋市（人事課）
				電動アシスト自転車購入補助	電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進した。	○	市民意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制を図り、地球温暖化対策の推進に寄与した。電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進した。【予算 650件 決算 650件】	豊橋市（ゼロカーボンシティ推進課）、市内の自転車販売店
	情報提供	企業と連携した健康効果の検証	行政 企業	自転車通勤切替による健康効果の検証	●自転車通勤による健康効果を確認するため、山口大学と連携して、豊橋市役所職員の通勤手段と健康データの分析を行っている。	○	健康効果について、今後、広く周知することで、自転車利用の促進につながる。	豊橋市（都市交通課） 豊橋市（健康政策課） 山口大学
		安全・快適な移動経路などの情報収集・提供（再掲）	行政 企業	自転車安全・快適利用啓発事業（ステッカー貼付）（再掲）	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」ステッカーを貼ることで、自転車利用者に交通ルールとマナーを周知した。	○	視覚的に訴えることにより、事故のリスクを低減させる効果がある。	豊鉄バス
				サイクルトレインPR（再掲）【資料1-2】	ホーム床面に案内表示を設置した。（10駅）車両の窓にサイクルトレインステッカーを貼り付けた。（10車両）	○	渥美線サイクルトレインの更なる周知ができた。	豊橋市（都市交通課） 田原市 豊橋鉄道
		新しい生活様式での自転車の活用情報の提供（再掲）	行政	コロナ禍における自転車通勤の推進	県境地域通勤環境推進協議会の参画事業所を対象に自転車通勤に関するニュースレターを送付し社員への配布及び社内掲示をしてもらうことで、自転車通勤を促した。	○	人との接触の低減となる自転車活用に寄与した。企業に対して自転車通勤を促した。	豊橋市（都市交通課） 県境地域の事業所

買物

- 実現したい将来の姿
- ・子育て世代でも、高齢者でも、安心して自転車で買物に行けるようになります。
 - ・店舗側も積極的に自転車を受け入れるようになり、気軽に使いやすくなります。
 - ・気軽に自転車でも買物に出かけるようになり、店舗側にも顧客増加のメリットが生まれます。
 - ・中心市街地にも、自転車で集まる人が増えて、まちなかのにぎわいがさらに高まります。
 - ・電動アシスト付き自転車がさらに普及することで、重い荷物があるときでも、少し離れたお店に行きたいときでも自転車が利用でき、暮らしやすさが高まります。

※表中の●は新規事業内容を対象

令和3年度に実施した事業								事業実施関係団体
活用場面	事業の区分	施策	関係団体	事業名称	事業内容	実施の有無	効果	
買物	安全教育	店舗を通じた顧客対象の安全啓発	行政企業	-	-	-	-	-
		交通安全教育などの継続・充実(再掲)	行政警察	交通安全教室の実施(再掲)	交通安全教室の実施 令和3年度に実施した「自転車」を内容で取り扱った交通安全教室 対象:高齢者 回数:4回 (96人) ※新型コロナウイルス感染症の影響により教室の回数は伸び悩んだ	○	受講者は交通ルールを学ぶとともに交通安全意識の高揚が図られ、結果として自転車利用者の死傷者数が減少した。(R2:360人 R3:325人)	豊橋市(安全生活課)
		貸付・補助事業と連携し安全啓発の実施	行政	自転車安全利用の教育	子育て支援施策として、就学前の満1歳以上4歳未満及び満2歳以上の幼児を2人以上養育し、豊橋市内に居住している家庭を対象に、三人乗り自転車(電動アシスト)の貸出を行った。	○	子育て家庭の日常生活における親子での移動手段として自転車の活用を促すことができた。 貸付時に約14分程の動画視聴で子どもの乗せ方や豊橋市自転車条例、損害賠償保険等について、安全教育を行うことで安全に対する意識を啓発できた。令和3年度貸出数81人/年	豊橋市(保育課) 豊橋市(安全生活課)
	意識啓発	買物交通を健康づくりの機会に活かす自転車活用の周知	行政企業	サイクルピット維持管理	自転車利用環境の向上のため、市内23箇所に設置されたサイクルピットを維持管理した。	○	サイクリング中に気軽に立ち寄ることができ、買物の他、自転車のメンテナンスも行える付加価値が生まれた。	豊橋市(健康増進課、都市交通課)、 (株)エコールとよはし(施設管理者)、 (株)道の駅とよはし、コンビニ
	支援・補助	貸付・補助による自転車活用の実施(再掲)	行政	三人乗り自転車貸出	三人乗り自転車(電動アシスト)の貸出決定者に対し、安全生活課が配布しているヘルメット購入補助金のチラシを配布する。	○	ヘルメット購入補助を利用して、実際に購入した利用者がいた。	豊橋市(保育課)
				電動アシスト自転車購入補助(再掲)	電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進した。	○	市民意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制を図り、地球温暖化対策の推進に寄与した。 電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進した。 【予算 650件 決算 650件】	豊橋市(ゼロカーボンシティ推進課)、 市内の自転車販売店
				高齢者運転免許自主返納電動アシスト自転車購入補助	1年以内に運転免許証を自主返納した70歳以上の方に対して電動アシスト自転車の購入代金を補助することで、利用を促進した。	○	前年度以上の購入実績があり、電動アシスト自転車の利用を促進した。 令和2年度補助金利用件数 71件 令和3年度補助金利用件数 92件	豊橋市(安全生活課) 市内の自転車販売店
	情報提供	安全・快適な移動経路などの情報収集・提供(再掲)	行政企業	自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)(再掲)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」ステッカーを貼ることで、自転車利用者に交通ルールとマナーを周知した。	○	視覚的に訴えることにより、事故のリスクを低減させる効果がある。	豊鉄バス
				サイクルトレインPR(再掲) 【資料1-2】	ホーム床面に案内表示を設置した。(10駅) 車両の窓にサイクルトレインステッカーを貼り付けた。(10車両)	○	渥美線サイクルトレインの更なる周知ができた。	豊橋市(都市交通課) 田原市 豊橋鉄道

○ 実現したい将来の姿

- ・ 自転車でまちをめぐる市民が増えて、まちへの愛着の醸成や健康づくりにつながります。
- ・ 本市の交通結節機能を活かすことで、太平洋岸自転車道でつながる渥美半島から浜名湖にかけての広域的な自転車観光の拠点となることが期待されます。
- ・ 太平洋岸自転車道を楽しむ人が、市内の観光スポットに立ち寄るようになります。
- ・ 自転車でまちを楽しむ姿が伝わり、次第に「自転車×とよはし」の魅力が高まります。

※表中の●は新規事業内容を対象

令和3年度に実施した事業								
活用 場面	事業の区分	施 策	関係団体	事 業 名 称	事 業 内 容	実施の有無	効果	事業実施関係団体
レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ 観 光	安全教育	自転車イベントに合わせた安全教育の実施	行政 民間団体	自然溢れるサイクリングロードでサイクリング体験	小学4年生から中学生を対象としたサイクリング体験。 4月と11月の2回開催。各回定員10名で開催し、合計20名の参加。 施設に隣接する豊橋田原自転車道を活用し、自然環境の中で、健やかな成長を育む機会及びチームワーク、目標を達成することにより達成感を味わうことができるチャレンジ体験を提供した。	○	自転車道や観光資源である伊古部海岸の案内、子どもたちに対してヘルメットの着用等安全な自転車利用についての指導及び自転車を楽しむきっかけを提供した。	豊橋市(生涯学習課少年自然の家)カントリーモーニング
	意識啓発	自転車を楽しむ機会の充実		ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバルを開催	道の駅とよはしを発着点とし、地域の名所やグルメをサイクリングしながらお楽しみいただくガイドツアーを実施した。	○	2021年11月開催時は2日間定員64名に対し満席の予約。 地元からの参加もあり、あらためて豊橋にはこんなところがあったのかなどのご意見をいただいた。 2022年2月はまん延防止等重点措置のため中止。	ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル実行委員会 事務局:(一社)豊橋観光コンベンション協会、豊橋市、豊橋商工会議所、豊橋市スポーツ協会、豊橋総合動植物公園、豊橋みどりの協会 日本トータ、ヤマサちくわ、ユタカ産業、豊橋鉄道、豊橋信用金庫
				市民スポーツ祭2021【自転車】を開催	市民を対象に競輪場のトラックでのタイムトライアル(400m、1km)を行う。小学生の部から60歳以上のシルバーの部まで7つの部門で競い合う。普段走ることのない競輪場のトラックでの競技を経験して自転車競技の楽しさに触れてもらった。(R3.8.22開催)	○	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、(公財)豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部
				第38回とよはし・チーム・ピストを開催	高校・大学の自転車競技部を除く町のレーシングチームを対象にトラック競技を行いチームでの総合得点を競い合う。トラックレーサーの部のチームパーシュート、チームスプリント、ケイリン、スクラッチと、新たにロードレーサーの部のチームスプリント、タイムトライアルがある。アマチュアのトラック競技の大会が少なく遠方からの参加者も多い。(R3はコロナ禍のため中止)	×	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、(公財)豊橋市体育協会、愛知県自転車競技連盟、(社)日本競輪選手会愛知支部
				第17回豊橋万場クリテリウムロードレース大会を開催	愛知国体自転車競技大会の10周年を記念し第1回が企画され15年目を迎える。万場調整池の管理用通路を周回コースとしてロードレースを開催。クリテリウムとは一般交通から遮断された周回コースである。種目は4時間エンデューロと個人ロードレース、チームタイムトライアルがありそれぞれに部門が分かれている。未就学児から実業団選手まで幅広い年代が自転車競技を楽しめる大会である。(R3はコロナ禍のため中止)	×	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、豊橋市教育委員会、(公財)豊橋市スポーツ協会、独立行政法人水資源機構
				とよはしサイクルマラソンを開催	この大会はレースではなく、交通ルールを守った自分のペースで安全に走る大会である。豊橋競輪場をスタートし東栄町を往復する約122kmのコース。途中、四谷の千枚田や廃校になった神田小学校に立ち寄り、紅葉も楽しめる大会である。東栄町の協力による昼食も楽しんでいただけた。(R3.10.2開催)	○	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	豊橋自転車競技協会、東栄町、新城市、(公財)豊橋市スポーツ協会
				令和3年度豊橋自転車競技大会の開催	昭和31年から毎年開催しており、アマチュアの自転車愛好者にピスト競技の楽しさ、面白さなどを体験していただくとともに自転車競技の啓蒙普及を図っている。1kmタイムトライアル、エリミネーション、2km速度競走、スクラッチ、ケイリンの種目があり、競技種目により豊橋市長賞、市議会議長賞、体育協会理事長賞が贈られた。(R3.8.22開催)	○	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、(公財)豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部
				令和3年度豊橋自転車競技大会春季記録会	コロナ禍により中止にせざるを得ない大会が多かったため、感染状況も多少収まってきた3月に前年度に引き続き記録会を開催した。感染対策を万全にして参加者は県内在住、在勤、在学に限定し、200mハロン、1kmタイムトライアル、500mタイムトライアル(女子)、ケイリンの種目で行った。今年も各地で中止となる大会が多かったためか多くの方に参加いただき開催することができた。(R4.3.21開催)	○	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	豊橋市、(公財)豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部
				カーフリーデーの開催	スポーツ電動アシストバイク(E-BIKE)の乗車体験を提供した。	○	まちなかの周遊を楽しんでもらい、自転車に乗るきっかけづくりとなった。	豊橋市(都市交通課)日本マウンテンバイク協会中部支部

レクリエーション
観光

- 実現したい将来の姿
 - ・ 自転車でまちをめぐる市民が増えて、まちへの愛着の醸成や健康づくりにつながります。
 - ・ 本市の交通結節機能を活かすことで、太平洋岸自転車道でつながる渥美半島から浜名湖にかけての広域的な自転車観光の拠点となることが期待されます。
 - ・ 太平洋岸自転車道を楽しむ人が、市内の観光スポットに立ち寄るようになります。
 - ・ 自転車でまちを楽しむ姿が伝わり、次第に「自転車×とよはし」の魅力が高まります。

災 害

- 実現したい将来の姿
 - ・ 災害時の備えとして自転車を整備し、利用することで、日常での活用推進にもつながります。
 - ・ 備えを行うことで災害に対する意識が高まります。
 - ・ 災害時においても自転車での避難が可能となります。
 - ・ 発災後、自転車を活用することで、移動手段を増やすことができます。

※表中の●は新規事業内容を対象

令和3年度に実施した事業								事業実施関係団体
活用 場面	事業の区分	施 策	関係団体	事 業 名 称	事 業 内 容	実施の有無	効果	
レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ 観 光	意識啓発	サイクリスト受入環境の向上	行政 企業	サイクルツーリズムの推進	レンタサイクルの運営(専属スタッフの配置)、サイクリング関係消耗品の販売や、他地域のサイクリングに関する情報収集及び発信や観光案内。サイクリストの誘客及び消費喚起を図るため、豊橋、田原、浜松の観光地を巡るイベントやGPSのログを募集するイベントを開催した。	○	レンタサイクルは186件の利用があり、昨年度に比べ108件増加した。都市交通課作成の本市のサイクリングマップをはじめ、近隣サイクリングエリアのサイクリングマップの持ち帰り数が大幅に増加した。イベントには述べ108人の参加があった。	豊橋市(観光プロモーション課)、株式会社道の駅とよはし、豊橋観光コンベンション協会、市内自転車関係事業者
				サイクルピット維持管理	豊橋市資源化センター余熱利用施設(りすば豊橋)の敷地内にサイクルピットを設置するとともに、自転車用工具や空気入れ等の貸出を行った。	○	自転車でアクセスしやすくなることで、利用者の増加が見込める。	豊橋市(健康増進課、都市交通課)、(株)エコールとよはし(施設管理者)、(株)道の駅とよはし、コンビニ
				工具ステーションの設置	●サイクリストの利便性を高めるため、24時間自転車の簡単なメンテナンスができる工具ステーションをサイクリング発着地となる市内主要3か所(道の駅とよはし東側駐車場、豊橋駅南口駅前広場、りすば豊橋駐輪場)に設置した。	○	既存のサイクルピット、組み立てステーションとの併設により、より快適な受入環境が整備された。	豊橋市(観光プロモーション課、健康増進課)、(株)エコールとよはし(施設管理者)、(株)道の駅とよはし
	情報提供	サイクリング・ポタリングコースの情報提供	行政 民間団体	サイクリングマップの増刷 英語版サイクリングマップの配布	R1に作成したサイクリングマップを増刷した。(3,000部) R2に作成した英語版サイクリングマップを配布した。	○	サイクリングマップを3,000部増刷し観光案内所等へ配布し情報提供できた。	豊橋市(都市交通課)
		レクリエーション・観光情報の情報発信						
災 害	意識啓発	災害時を想定した日常での自転車活用の推進	行政	災害時の自転車活用に向けた環境整備	自転車活用推進計画と連携し、災害時の備えとして、自転車をいつでも利用できるように定期的に整備することや、災害時の自転車活用の必要性を啓発した。	○	災害時の適切な移動手段はその時の被災状況や住環境によって異なることから、非常時の移動手段の一つとして各自で考えるよう啓発した。 令和3年度 防災講座 実績229回 参加者26,767人 ※防災講習会・防災訓練等を含む	豊橋市(防災危機管理課、都市交通課)
	支援・補助	災害時などの自転車の整備点検	行政 企業	-	-	-	-	-
	情報提供	防災啓発資料への自転車活用情報の提供	行政	-	-	-	-	-
その他				「環境フェスタ」などでの自転車の提供	令和3年11月6日にのんほいパークで開催された「530環境フェスタ」で自転車42台を抽選で無償提供した。	○	使えるものは繰り返し使う「リユース」をPRし、物を大切にする心、もったいないという意識を啓発することができた。	豊橋市(収集業務課) 530運動環境協議会
				豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の推進(再掲)	平成31年4月1日に施行した豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の更なる周知を図る。特に、自転車損害賠償保険等への加入(令和元年10月1日より義務化)及びヘルメット着用の促進を図る。 ●令和3年度は、愛知県職員、中核市職員(豊田市、岡崎市)、市内私立高等学校教諭、警察官等が参加する自転車有識者会議を開催し、高校生の自転車交通安全対策やヘルメット着用率向上を目指し、対策について検討を行った。	○	各種取組により、条例の周知が図られた。 ヘルメット着用の必要性について、購入補助金と併せて市ホームページや広報とよはし等を活用して広く周知することにより、前年以上のヘルメット購入実績となり、ヘルメット着用の促進にもつながった。 令和2年度ヘルメット補助金利用件数 1557件 令和3年度ヘルメット補助金利用件数 2866件	豊橋市(安全生活課) 愛知県、市内高等学校、豊橋警察署、損害保険会社、保険代理店

通行空間

- 実現したい将来の姿
- 市内の中学校、高等学校、大学、企業、店舗などに安全・快適に移動できるようになり、自転車事故の減少や過度な自家用車からの転換が期待できます。
 - 鉄道駅などに安全・快適に移動できるようになり、自家用車での送迎などが減少します。
 - レクリエーションや観光、健康づくりなど、余暇で自転車が利用しやすく、楽しみやすくなります。

駐輪環境

- 実現したい将来の姿
- サイクルアンドライドがしやすくなり、鉄道駅にアクセスする際の移動手段として、自家用車利用から自転車への交通手段の転換が期待されます。
 - まちなか駐輪環境が向上することにより、中心市街地に自転車で訪れやすくなり、まちなかのにぎわい向上が期待されます。

※表中の●は新規事業内容を対象

令和3年度に実施した事業							事業実施関係団体
基盤	施 策	関係団体	事 業 名 称	事 業 内 容	実施の有無	効果	
【通行空間】の整備	安全・快適な自転車ネットワークの整備	行政	自転車通行空間の整備 (豊橋市(道路建設課))	旭町・東田中郷町7号線 (矢羽根) L=694m 井原町・東田町10号線 (矢羽根) L=221m 野依町271号線 (矢羽根) L=78m 整備した。 ●令和2年度に都市計画部都市交通課が定めた、「豊橋市自転車活用推進計画2021-2030」を踏まえて、自転車ネットワーク整備計画の改定(5年分)を行った。	○	新たな推進計画を踏まえ、整備計画を改定することで、通勤、通学及び日常利用のみならず余暇利用等を踏まえた整備計画となり、自転車の利用ニーズや安全性の向上につながった。	豊橋市(道路建設課)
			自転車通行空間の整備 (愛知県)	大岩中原線 (自転車通行帯) L=1329m整備した。 石巻赤根線 (矢羽根) L=552m整備した。 中野町線 (自転車通行帯)の設計をした。 東三河環状線 (自転車通行帯)の設計をした。 大清水赤沢線 (自転車通行帯)の設計をした。 田原豊橋自転車道線 (自転車道) L=199m整備した。	○	一部区間の自転車通行空間が整備され、安全が確保された。	愛知県(東三河建設事務所 道路整備課)
			自転車通行空間の整備 (豊橋市(まちなか活性課))	ストリートデザイン整備事業において、萱町通り(札木通り～水上ビル区間)における自転車通行空間約600mの整備を行った。	○	自転車歩行者道における自転車の通行を車道へ促すことにより、歩行者の安全性の確保及び歩道の利活用の推進に寄与した。	豊橋市(まちなか活性課)
	自転車通学時の安全確保に向けた個別対策の実施	行政	自転車通学時の安全確保に向けた個別対策の実施	-	-	-	-
【駐輪環境】の整備	サイクルアンドライド駐輪場の整備推進	行政 企業	駐輪場の整備 【資料1-3】	●渥美線利用者の更なる利便性向上を図るため、高師駅構内用地に駐輪場を整備した。(60台整備) ホームページ・チラシの掲出、また車内放送にて利用者に案内を行った。	○	渥美線高師駅構内用地に駐輪場を整備しサイクル&ライドの利用促進につながった。 駐輪台数実績 3月165台 1日最大17台	豊橋鉄道 豊橋市(都市交通課)
	まちなかにおける駐輪環境の向上	行政	自転車等駐車場管理運営事業	指定管理者制度による豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)の管理・運営を行った。	○	駅周辺における駐輪環境の向上	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株式会社)